
宇宙最強の超戦士達

虎武士

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

宇宙最強の超戦士達

【Nコード】

N1861G

【作者名】

虎武士

【あらすじ】

半年前に悟空に倒され、地獄へ落ちた一星龍。だが、彼は諦めてなかった……………

エピソード1：暗躍の地獄

一星龍との戦いから半年……………

孫悟空はまだ帰って来ない……………。

？

「クククク……………お前達、孫悟空達に復讐する為、地球に行きたいか？」

暗き空を支配する世界、地獄。

この場所で大勢の悪人達が、白い肉体を持つ男の言葉に反応する。

Dr・ゲロ

「出来ると言うのか？そんな事が……………」

Dr・ゲロは不思議な顔をしながら、質問する

？

「出来るさ。お前達は【スピリッツロンダリング装置】の事を知ってるな？」

セル

「もちろんだ。」

フリーザ

「そういえば前に、装置が壊れた事がありましたね？もしやそれを使って……」

フリーザは納得し始める。

？

「そうだ。お前達の誰かが【奴】の復活の媒体となり、あの世とこの世を繋げるのだ。」

男は両腕を組み、飛び上がる。

エピソード2：蘇る魔戦士達と立ち向かうZ戦士

青き地球に平和が戻って半年……

青き地球に平和が戻って半年……

サタンシティ

悟天

「どうパレスちゃん、美味しい？」

パレス

「はい！悟天様の選ぶお食事はどれも美味しいですわ！」

悟天

「それはよかった！」

レストランで悟天は彼女のパレスを連れて、美味しい食事を楽しんでいた。

父、悟空が自分らの前から消えた……

そんな寂しさを悟天はデートで紛らせているのだ。

そう此処までは……………

ドオオオオン！

悟天&パレス
「！？」

外から爆音が響く、それに驚いて市民達は逃げまどつ。

パレス

「な、なんですよ…?」

悟天

「…わ、分からない。でも…此処が危ないって事は分かるよ。」

バリィン!

二人の向かい側の窓が割れた。いや、正確には何者かが窓を割って来たのだ。

悟天

「え…?お父さん…!?!」

目の前に現れた人物に悟天は呆気に取られた。

こいつはあの優しい父ではない、全くの別人。

そう自分の心に言い聞かせ、悟天はパレスを見る。

パレス

「悟天様?」

悟天

「パレスちゃんごめん、先に逃げてて。」

パレス

「えっ……わ、分かりましたわ！」

パレスは彼の言葉に急いでレストランを出る。

？

「ふっ……地球の女を逃がすとは、泣かせるじゃねえか？ カカロツトの息子よ……」

男は渋々と悟天に話しかける。

悟天

「うるさい！ お前はお父さんじゃないな？ 死人だろ！？」

？

「——そうだ」

ドズッ……

悟天

「がっ………！」

男の放たれたパンチが悟天の腹に食い込んだ。

？

「俺はターレス、貴様と同じサイヤ人さ……！」

ドガガガガッ………！！

悟天

「ぐあっ！えごー！うああああー！！」

ターレスは猛烈なラッシュで悟天を攻めて行く。

カプセルコーポレーション

此処ではパーティの準備が行われていた。

ブルマ、チチ、ビーデル、18号が料理を作り、悟飯、トランクス、サタン、クリリンが料理をテーブルに並べ、ウーブ、パン、ブラ、マーロンが静かに待ち、ベジータが木寄り添って待っている。

？（おい！）

悟飯&・トランクス

「え？」

ベジータ

「……誰だ？」

界王（わしじゃ、界王様だぞ——い。

パン

「ねえパパ、界王様って？」

悟飯

「界王様というのは、宇宙一偉い人の事なんだよ。」

娘に親切に説明する悟飯。

ベジータ

「それで界王、貴様が俺達に語りかけるといふ事は、何か事件でも起こったのか？」

不機嫌そうにベジータは界王に語る。

界王（ああそうじゃった。お前達、一星龍の事は覚えておるな？）

トランクス

「あ、はい。それがどうかしたんですか？」

界王（その一星龍なんじゃが、地獄で死人を蘇らせ、ジャネンバを復活させてしまったのじゃ）

ベジータ

「ジャネンバだと！？」

ベジータは驚いた。彼の脳裏にあの忌まわしき戦鬼が遮った。

界王（今回はあの時とは違う！ジャネンバや一星龍もいる！悟空もおらん……）

ベジータ

「冗談言つな……」

界王（え？）

ベジータ

「いつまでも、カカロットばかりに頼れんなからな。」

悟飯

「父さんがいない今、地球は僕達で守るんだ。」

トランクス

「俺達で……この地球にいる戦士達で戦うしかありませんね。」

ウーブ

「行きましょう!」

ドンッ!!

ウーブは飛び立っていった。

ベジータ

「俺達も行くとするか。」

ベジータはゆっくりと空へ浮かぶが……

ブルマ

「ベジータ!これを持って行って!」

パシッ!

ベジータはブルマが投げたホイホイカプセルを受け取った。

ベジータ

「こいつは……」

トランクス

「母さん、まさか……」

ブルマ

「ええ、ついに完成したのよ。小型ブルーツカプセルが」

ベジータはカプセルをズボンのポケットに仕舞い、飛んで行った。

悟飯

「トランクス、パン。僕達も行こう。」

パン

「パパ、あたし頑張るからね!」

悟飯

「ああ、だけど無茶しちゃ駄目だよ?」

パン

「分かってるわよ!」

ドンッ!

悟飯親子も飛び去った。

ビーデル

「貴方~~~~パン~~~~、頑張つてね〜。」

ビーデルはそんな夫と娘に向かって応援する。

トランクス

「さて、俺も行きつつ悟天と合流しますか。」

18号

「待ちなトランクス」

トランクス

「え、何です？」

18号

「あたし達夫婦が悟天を見つけるから、あんたは戦っておくれ。」

クリリン

「えっ?……ま、まあそういう訳だから好きなだけ戦えよ、いいな?」

クリリンは嫌だったが、妻に睨まれて承知した。

トランクス

「はい、ありがとうございます。」

バウツ!!

そしてトランクス、クリリン、18号、（終わったら3000万ゼニーと無理矢理交渉成立させられた）サタンは戦いの場へ向かう。

地獄

ピッコロ

「……………貴様は行かなくて良かったのか？」

ピッコロは目の前にいる人物、実父であるピッコロ大魔王を見つめる。

ピッコロ大魔王

「例え下界へ行った所で何が出来た。それに成長した我が子に、やっと会えたのだから……………」

ピッコロ大魔王は微笑む。

ピッコロ

「孫に影響された、唯の魔族のなり損ないの俺の所に来るとはな…
…用件は分かるだろうな…?」

ピッコロ大魔王

「承知の上だ…さあ、私の身体に腕を…」

ピッコロは大魔王の胸に右腕を添えた。そしてピッコロ大魔王の身体は彼に取り込んで行く。

ピッコロ

「ネイル…神…そして父…俺は3人の同族と同化し、最強のナメツク星人へと成した。…行くか。」

バウツ!!

続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1861g/>

宇宙最強の超戦士達

2010年10月9日21時13分発行